○○小学校防災教育プラン (目標及び内容例一覧)

項	防災教育の目標		防災教育「横浜の時間」の内容
目	知識・理解	技能・実践力	教科に横断的・及び総合
個	学校内や家庭内で危険な場所、避	通学路や地域での危険な場所、	(生) 上郷宿泊体験
別	難すべき安全な場所について知	安全な場所を考え、身を守るこ	(生) 調理実習
支	り、安全な行動をとることができ	とができる。	(生) 市営バス体験
援	る。		
1	学校内や家庭内で危険な場所、避	緊急地震速報で、どのような場	(国) ずっとずっと大好きだよ
年	難すべき安全な場所について知	所でも安全な場所に移動する	(生命尊重)
	り、安全な行動をとることができ	ことができる。	(生) 学校探検
	る	「お・か・し・も」を守り、秩	(学) 安全な通学
2	地域の様子を知り、通学路や地域	序正しく避難ができる。	(国) スイミー (共助の精神)
年	での危険な場所、広域避難場所な	通学路や地域での危険な場所、	(国) 話すこと、聞くこと
	どを知り、震災時にとるべき正し	安全な場所を考え、身を守るこ	(生) 町探検
	い行動を考えることができる	とができる。	「広域避難場所」
3	地域の地形や住宅密集の様子な	地域の様子を把握し、火災など	(社) この町の様子
年	どを知り、火災からの避難の仕方	の二次災害から避難する判断	地形と土地利用 住宅密集度
	などを考えることができる。	力をもつ。	(社・総)○○はももの里
			田んぼと畑だったこの町
4	地域の自然災害に対して先人が	家庭内で自分と家族がけがを	(社) みんなで安全を守る
年	闘い、克服してきた歴史や現在も	しないために備え、行動する判	(理) カセットコンロの使い方
	地域の人々が共助、公助によって	断力をもつ。	(総) みんなで守る地域の安全
	地域の安全や災害時の助け合い	地域防災拠点訓練に親子で参	「親子で地域防災拠点訓練体験」
	をしようとしていることに、地域	加し、地域防災拠点の意味や、	(総)○○洪水とのたたかい
	人としての生き方を学び、考えを	防災のための備えを体験的に	(総)愛川体験学習
	もつことができる。	学ぶことができる。	「南から来た丹沢」
5	教科学習に関連して、地震、火山、	家具の固定、食器など飛び出し	(国) 百年の堤防を築く
年	台風、洪水などの自然災害への理	防止の重要さを理解し、実践し	(理)台風
	解を深め、自然の理解や過去の災	ようとする。	(理) 流れる水のはたらき
	害の教訓を未来の防災に活かそ	応急手当を学び、自分や家族が	(保)応急手当
	うとする考えをもつことができ	けがをしたら適切に応急手当	(総)流水がつくった○○
	る。	てができる。	(総)神奈川の活火山、箱根
			(家・総) 地震に安全な家庭づくり
6	教科学習に関連して、地震、火山	「何を守るか 何から守るか	(算) 速度 津波の速度 P波・S波
年	が国土をつくってきた事実や震	どう守るか」の、地震によって	の速度
	災、大火災の歴史を学び、繰り返	派生する危機に対応する思考	(理) 地震・火山による土地の変化
	す自然現象に対して、被害を最小	力、判断力をもつことができ	(理) てこのはたらき
	限にするための備えや方策にを	る。	(社) 関東大震災
	学んだり考えたりできる。	在宅被災生活を生き抜くため	(家・総) 在宅被災生活の備えと食事
		の調理法などを体験的に学ぶ。	(総)地震に強い○○に
			(総) 地震火災をどう防ぐか?
			実技バケツリレーの方法

○○小学校防災教育プラン 個別支援級・基礎 目標と指導内容

目標	態度・実践力知識・理解	「お・か・し・も」を守 通学路での危険な場所、	まうな場所でも安全な場所に移動することができる。 でり、秩序正しく避難ができる。 安全な場所を考え、身を守ることができる。 で、危険な場所、避難すべき安全な場所について知り、 はしている。
	教科・領域	取扱項目	指導内容例
学校での	道徳	健康や安全に気をつけて生活する。 生命を大切にする心を 育てる。	日常生活とかかわって、健康や安全に気をつけて生活する態度や、生命を大切にする心を育てる。
学	行事	学校防災訓練	上級生の行動に学び、自ら考えて身を守る行動がと
習		地域防災拠点訓練	れるようにする。
内		運動会	秩序ある、集団行動の取り方ができるようにする。
容	生活指導	安全な登下校	地震に際しては、ブロック塀や電柱から離れ、「団子 虫のポーズ」などで身の安全を図れるようにする。
	教科等 生活単元	(生)上郷宿泊体験(生)調理実習(生)電車に乗ってでかけよう(生)学校たんけん	・宿泊体験学習に向けての学習を通して、自立した 生活態度や、ルールを守り、自他の安全を確保する 行動がとれるように学習する。 ・調理学習を通して、食への関心を高め、自立した生 活態度を養う。 ・交通機関の利用を通して、街中や交通機関には、安 全のための配慮や備えがあることを知る。学校の 隅々までたんけんして理解し、 教室の他の場所で地震が来たときの身の守り方を教 師に教えられて知る。
学校外	家庭内の防 災教育	家の中の安全な場所、 危険な場所 家族の連絡	・「家庭防災会議」で家の中でけがなく地震をやり過ごす動き方について具体的に決めて理解する。 保護者との連絡方法を常に知り、災害時の連絡方法 を決めておく。
での			・通学路で地震にあった場合に、どうするかを家族 で決めておく。
学習内	地域に生きる防災教育	近所の人と挨拶	保護者が率先して、近隣の人との輪を広げ、顔の見 える関係づくりをすることが子どもの安全につなが ります。
容		「要支援者への防災」 の輪に加わる	「要支援者への防災支援」について、地域防災拠点 訓練で親子で学び、地域の人々とつながりがもてる ようにす。

○○小学校防災教育プラン 第1学年 目標と指導内容

	北	取名地電法却っ ドのト	ことが担託できた人が担託に放動することができる
	態度・実践力		こうな場所でも安全な場所に移動することができる。
目		「お・か・し・も」を守り、秩序正しく避難ができる。	
標	t the area from		安全な場所を考え、身を守ることができる。
	知識・理解	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ご、危険な場所、避難すべき安全な場所について知り、
		安全な行動について理解	ないる。
	教科・領域	取扱項目	指導内容例
学	道徳	健康や安全に気をつけ	日常生活とかかわって、健康や安全に気をつけて生
校		て生活する。	活する態度や、生命を大切にする心を育てる。
で		生命を大切にする心を	
\mathcal{O}		育てる。	
学	行事	学校防災訓練	上級生の行動に学び、自ら考えて身を守る行動がと
習		地域防災拠点訓練	れるようにする。
内		運動会	秩序ある、集団行動の取り方ができるようにする。
容	生活指導	安全な登下校	登下校での、交通ルール、子ども110番の家、不審
			者に遭遇したときの対処法を知る。
			地震に際しては、ブロック塀や電柱から離れ、「団子
			虫のポーズ」などで身の安全を図れるようにする。
	教科等	(国) ずっとずっと大好	・道徳などとも関連して、命の大切さ、大切な家族の
		きだよ(生命尊重)	こと、高齢の人を思いやる心なども養う。
		(国) 話すこと、聞くこ	・自分の名前、住所、連絡先、保護者との連絡のとり
		کے	 方などを言えたり、大切な連絡を聞き取ったりする。
		 (生)学校探検	・学校の施設を隅々まで実際に歩いて知り、地震が
			発生したときの身の守り方を先生から聞いて学ぶ。
	生活科	学校たんけん	学校の隅々までたんけんして理解し、
			 教室の他の場所で地震が来たときの身の守り方を教
			師に教えられて知る。
	家庭内の防	家の中の安全な場所、	・「家庭防災会議」で家の中でけがなく地震をやり過
学	災教育	危険な場所	ごす動き方について具体的に決めて理解する。
, 校		家族の連絡	保護者との連絡方法を常に知り、災害時の連絡方法
外		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を決めておく。
で			・通学路で地震にあった場合に、どうするかを家族
0			で決めておく。
学	地域に生き	 近所の人と挨拶	保護者が率先して、近隣の人との輪を広げ、顔の見え
習	る防災教育		る関係づくりをすることが子どもの安全につながり
内内	O DADOCAY H		ます。
容		 町の行事への参加	ー サッ。 町の行事に参加しよう
		1	「いく」がで多別しより

○○小学校防災教育プラン 第2学年 目標と指導内容

	能 庄 , 宝贴力	取名地電油却で じのと	- ふわ担正でも生みわ担正に投動することができる
	態度・実践力	緊急地震速報で、どのような場所でも安全な場所に移動することができる。	
目		「お・か・し・も」を守り、秩序正しく避難ができる。	
標		通学路や地域での危険な場所、安全な場所を考え、身を守ることができる。	
	知識・理解	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	·場所、避難すべき安全な場所について知り、安全な行
		動について理解している	0.
	教科・領域	取扱項目	指導内容例
学	道徳	健康や安全に気をつけ	日常生活とかかわって、健康や安全に気をつけて生
校		て生活する。	活する態度や、生命を大切にする心を育てる。
で		生命を大切にする心を	
0		育てる。	
学	行事	学校防災訓練	上級生の行動に学び、訓練の内容を知り、きまりの大
習		地域防災拠点訓練	切さを理解して実践することができる。
内		運動会	集団行動の取り方ができるようにする。
容	生活指導	安全な登下校	登下校での、交通ルール、子ども110番の家、不審
			者に遭遇したときの対処法を知る。
			地震に際しては、ブロック塀や電柱から離れ、「団子
			虫のポーズ」などで身の安全を図れるようにする。
	教科等	(国) スイミー (共助)	・道徳などとも関連して、共助の大切さや率先して
		(国)話すこと、聞くこ	正しい行動をとれることの大切さを考える。
		کے	・自分の名前、住所、連絡先、保護者との連絡のとり
			方などを言えたり、大切な連絡を聞き取ったりする。
	生活科	(生)町探検	・町探検では、「広域避難場所」の場所や、学校や家
			からのルートを確かめる。
	家庭内の防	家の中の安全な場所、	・「家庭防災会議」で家の中でけがなく地震をやり過
学	災教育	危険な場所	ごす動き方について具体的に決めて理解する。
校		家族の連絡	保護者との連絡方法を常に知り、災害時の連絡方法
外		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	を決めておく。
で			- ・通学路で地震にあった場合に、どうするかを家族
0			で決めておく。
学	地域に生き	近所の人と挨拶	保護者が率先して、近隣の人との輪を広げ、顔の見え
習	る防災教育		る関係づくりをすることが子どもの安全につながり
内			ます。
容		 町の行事への参加	かり。 町の行事に参加するようにする。
		1 × 11 1. 3× 3× 4H	家族ぐるみで「地域防災拠点訓練」に参加するように
			する。(学校も働きかける)
			教師もかかわり、よく理解する。
			我即ひパル゚ル゚イノソ、よく生性りる。

○○小学校防災教育プラン 第3学年 目標と指導内容

	態度・実践力	地域の様子を把握し、火	:災などの二次災害から避難する判断力をもつ。
目		家庭内で自分と家族がけがをしないために備え、行動する判断力をもつ。	
標	知識・理解	地域の地形や住宅密集の様子などを知り、火災からの避難の仕方などを考える	
		ことができる	
	教科·領域	取扱項目	指導内容例
学	道徳	健康や安全に気をつけ	日常生活とかかわって、健康や安全に気をつけて生
校		て生活する。	活する態度や、生命を大切にする心を育てる。
で		生命を大切にする心を	
の		育てる。	
学	行事	学校防災訓練	上級生の行動に学び、訓練の内容を知り、きまりの大
習		地域防災拠点訓練	切さを理解して実践することができる。
内		運動会	集団行動の取り方ができるようにする。
容	生活指導	安全な生活	行動範囲が広がるなかで、地域の危険な場所や、避難
			に適した安全な場所を理解できるようにする。
	教科等	(社) この町の様子	・この町の地形や、住宅の密集度などに気づき、火災
		地形と土地利用	の危険性や、火災の時にどこに逃げたらよいかにつ
		住宅密集度	いて、クラスや家族で話し合い、判断力を養う。
		(国)ちいちゃんのかげ	・文章の読みとりから、空襲と大火災の恐ろしさを
		おくり	知り、火災からの早期避難の大切さを考えられるよ
			うにする。
	「横浜の時	(社・総)○○はももの	・桃の里の歴史を調べる中で、洪水を繰り返してき
	間」	里	た土地の歴史と、田畑から急速に住宅街に変貌して
		田んぼと畑だったこの	きた町の歴史を知り、火災や洪水の災害の危険にい
		町	て関考えることができるようにする。
	家庭内の防	家の中の安全な場所、	・「家庭防災会議」で家の中で、大火災時の避難ルー
学	災教育	危険な場所	トについて具体的に考えられるようにする。
校		家族の連絡	・地域の様々な場所で地震にあった場合に、どうす
外		_	るかを家族で決めておく。
で	地域に生き	近所の人と挨拶	・保護者が率先して、近隣の人との輪を広げ、顔の見
の	る防災教育		える関係づくりをすることが子どもの安全につなが
学			ります。
習		町の行事への参加	・町の行事に参加するようにする。
内			家族ぐるみで「地域防災拠点訓練」に参加するように
容			する。(学校も働きかける)

○○小学校防災教育プラン 第4学年 目標と指導内容

目標	態度・実践 力	家庭内で自分と家族がけがをしないために備え、行動する判断力をもつ。 地域防災拠点訓練に親子で参加し、地域防災拠点の意味や、防災のための備えを 体験的に学ぶことができる。	
	知識・理解	助、公助によって地域の気	先人が闘い、克服してきた歴史や現在も地域の人々が共 安全や災害時の助け合いをしようとしていることに、地 び、考えをもつことができる。
学	教科・領 域	取扱項目	指導内容例
校での学	道徳	内容 2 - (4) 生活を支えている人々 や高齢者への尊敬や感 謝の気持ちをもつ	社会科や総合の学習と関連して、今の安全な生活が先人や地域の人々の努力や連携によるものであることに尊敬や感謝の気持ちを持てるようにする。
習内容	行事	学校防災訓練地域防災拠点訓練	・煙体験をして、煙の怖さと対応を理解する。 ・宿泊体験学習を通して、「安全の三ヶ条=正しい知 識・正しい備え・正しい行動」を実践できるようにす る。
	生活指導	安全な生活	行動範囲が広がるなかで、地域の危険な場所や、避難 に適した安全な場所を理解できるようにする。
	教科等	(社) みんなで安全を守る(社) 神奈川県の地形(理) カセットコンロの使い方	・この町の地形や、住宅の密集度などに気づき、火災の危険性や、火災の時にどこに逃げたらよいかについて、クラスや家族で話し合い、判断力を養う。 ・神奈川県に丹沢山地のような山地、巨大火山箱根、関東地震の震源地である相模湾があることを学び、地震や火山と共存していくことが課題であることを学ぶ。 ・カセットコンロの安全な使用方法について学ぶ。
	「横浜の時間」	(総)○○洪水とのたたかい (総)愛川体験学習 「南から来た丹沢」 (総)みんなで守る地域 の安全 「親子で地域防災拠点 訓練体験」	・桃の里の歴史を調べる中で、洪水を繰り返してきた 土地の歴史と、田畑から急速に住宅街に変貌してきた 町の歴史を知り、火災や洪水の災害の危険にいて関考 えることができるようにする。 ・地域防災拠点訓練に親子で参加して、地域防災拠点 を中心に、地域の人々が町の安全を守り、災害に共助 の精神で向き合う姿に学ぶ。
学校外	家庭内の防災教育	地域の一員として、地域 防災拠点の役割を理解 し、関心をもって地域防 災に参加するようにす る	・「家庭防災会議」で家の中で、震災後の火災への警戒、火災を発見したら、まず大声でたくさんの人に知らせること、初期消火の方法、大火災時の避難ルートや、について具体的に知り、考えられるようにする。
	地域に生 きる防災 教育	近所の人と挨拶 町の行事への参加	・保護者と共に地域防災拠点訓練に参加し、地域の連携の中で生命と財産を守ることの大切さを知る。 ・町の行事に参加するようにする。

○○小学校防災教育プラン 第5学年 目標と指導内容

	松声 古中	売入れ学房生活に囲きます	ナーウ目の国ウーA明みで示が出しけよの手声とナロ
	態度・実践	安全な家庭生活に関心をもち、家具の固定、食器など飛び出し防止の重要さを理	
目	力	解し、実践しようとする。	
標			族がけがをしたら適切に応急手当てができる。
	知識・理解		、火山、台風、洪水などの自然災害への理解を深め、
		自然の理解や過去の災害の	教訓を未来の防災に活かそうとする考えをもつこと
		ができる。	
	教科・領	取扱項目	指導内容例
学	域		
校	道徳	自他の生命の尊重	具体的な資料を活用して、生命がかけがえのないも
で		社会に奉仕する喜び	のであることを知り、自他の生命を尊重する心や社
0			会に奉仕する心を育てる。
学	行事	学校防災訓練	消火器の扱いを実際に学び、火を小さいうちに消し
習		地域防災拠点訓練	止める、初期消火の大切さを理解する。
内		箱根宿泊体験学習	野外炊事の体験を通して、電気ガスが使えない状況
容			での炊事をできるようにする。
	生活指導	安全な生活	最上級生として、下級生の手本になる安全への正し
			い行動がとれること。登下校などで下級生の安全確
			保のリーダーとなる自覚をもつ。
	教科等	(国)百年の堤防を築く	・防災教育の原点となる実話を読み解くことを通し
		(安政東南海地震津波の	て、災害の教訓を生かし、未来の災害を克服するこ
		教訓)	との大切さを理解する。
		(理) 台風	- ・流水の働きで、○○に災害が繰り返されてきたこ
		 (理)流れる水のはたらき	 とと、流水の働きが土地をつくってきたことを理解
		(保) 応急手当	する。
			・簡単な応急手当について体験的に理解し、震災時
			 には、身近なものを使って、自分や家族の応急手あ
			え手をする知恵をもつ。
	「横浜の	(総)神奈川の活火山、箱	・箱根宿泊体験学習を通して、神奈川県が地球のエ
	時間」	根	 ネルギーが集積している場所であることを実感し、
	7 1. 72	´・ (総)流水がつくった○○	地震、火山との共存について考えをもつ。
		(家・総)地震に安全な家	・「快適な家庭生活」の発展として、震災に対して安
		庭づくり	全な家庭生活について、家庭防災マニュアルを主体
			的に作成できるようにする。
	家庭内の	地域の一員として、地域某	・「家庭防災会議」で家の中で、安全な家庭生活につ
学	防災教育	相拠点の役割を理解し、	いて、自ら考えたり、災害リスクを同じにする、地
校	レックくすみ 日	1日ルンハーン 区目3 ピノエカギ し、	域ごとの児童で集まって考えたりできるようにす
外			る。
1	地域に生	近所の人と挨拶	・家庭の立地、建物から、災害リスクを考えたり、
	地域に生きる防災	<u> </u>	・
	さるめ 炎 教育	 町の行事への参加	CAMENTI WATER COURTING OF
	秋月	1,47,11 主,767,00/11	

○○小学校防災教育プラン 第6学年 目標と指導内容

	態度・実践	「守りの三原則=何を守	るか 何から守るか どう守るか」に基づき、地震によ
目	力	って派生する危機に対応する思考力、判断力をもつことができる。	
標		在宅被災生活を生き抜く	ための調理法などを体験的に学ぶ。
	知識・理解	教科学習に関連して、地	震、火山が国土をつくってきた事実や震災、大火災の歴
		・ 史を学び、繰り返す自然	現象に対して、被害を最小限にするための備えや方策を
		学んだり考えたりできる。	
	教科・領	取扱項目	指導内容例
学	域		
校	道徳	自他の生命の尊重	具体的な資料を活用して、生命がかけがえのないもの
で		社会に奉仕する喜び	 であることを知り、自他の生命を尊重する心や社会に
0			奉仕する心を育てる。
学	行事	学校防災訓練	近隣の火災に対して、バケツリレーの中継ぎを経験す
習	14 4	地域防災拠点訓練	るなどして、将来の地域防災の主体となっていく自覚
内		日光赤城宿泊体験学習	を育てる。
容		11787 // III II I W 1	集団生活や野外炊事を通して、安全な行動のとりかた
			や野外活動の力を高める。
	生活指導	安全な生活	最上級生として、下級生の手本になる安全への正しい
		7 4 4 A II	行動がとれること。登下校などで下級生の安全確保の
			リーダーとなる自覚をもつ。
	数 科等	 (算)速度 津波の速	・速度学習を地震波の速度や、津波の速度で実際に計
	47/11/4	度 P波・S波の速度	算してみる。
		(理) 地震・火山による	・横浜の土地が地震や火山噴火の繰り返しでできてい
		土地の変化	ることを理解し、地震と共存する生活づくりについて
		(理) てこのはたらき	考える。
		(社) 関東大震災	- ^ ~ 。 - ・てこの原理の活用によって、倒壊物の撤去もかのう
			であることを考える。ジャッキも、エネルギー保存の法
			則で重いものを小さい力で動かせることを知る。
			・関東大震災で横浜が23000人の死者、小学生だ
			けでも903人の死者を出し壊滅した歴史を真摯に受
			け止め、教訓を活かすように考える。
	「横浜の	(家·総)在宅被災生活	・「調理」の発展として、在宅被災生活を乗り切るため
	時間」	のための備えと食事	の、水、トイレ、食事、電気などの工夫を考える。
		(総) 地震に強い○○	・何を守るか、何から守るか、どう守るか?の視点か
		(IC	ら、主体的に防災を考える。
		(総) 地震火災をどう	・具体的に、最大の災害リスクである火災を防ぐため
		防ぐか?実技バケツリ	に、消火器の取り扱いや、人数に応じたバケツリレーの
		レーの方法	取り組み方を考えて実践する。
	家庭内の	地域の一員として、地	・「家庭防災会議」で、安全な家庭生活、在宅被災生活
学	防災教育	域某相拠点の役割を理	について、自ら考えたり、災害リスクを同じにする、地
校	124 2 1.3 A H	解し、	域ごとの児童で集まって考えたりできるようにする。
外	地域に生	 近所の人と挨拶	・家庭の立地、建物から、災害リスクを考えたり、それ
/1	地域に生きる防災	町の行事への参加	・家庭の立地、建物がら、火音リヘクを考えたり、で40 に対する対策を考えたりできるようにする。
		-1 ^/ [1] 五. , ^/ 参加	15/11 1 3/11水で分んにりてさるよりにりる。

教育	